

請 願 番 号	請願第 5 号
件 名	現行の健康保険証を廃止しないで、引き続き使えることを求める請願
受 理 年 月 日	令和 5 年 8 月 2 1 日
請 願 者	日本共産党日出支部 佐藤隆信
紹 介 議 員	阿部 峰子
請 願 趣 旨	政府は「マイナンバーカードの取得は任意」と言いながら、「2024 年度秋には健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化」しようとしています。これは事実上の強制です。健康保険証の廃止により、多くの国民が「無保険者」扱いをされる危険があり、これは国民皆保険制度の根幹をゆるがす事態です。 マイナンバーカードを持たない人は「資格確認書」が必要になります。カードを取得した人も「マイナ保険証」に他人の情報が登録された事例が 7 千件をこえ、医療機関で保険資格や本人確認ができないなどの実害も出ています。こうしたなかでどの世論調査でも「延期・中止」が 7 割をこえ、多くのメディアが「中止」「見直し」を主張しています。 政府は「秋までに総点検する」と言いますが、カード発行枚数は約 9 千万件、ヒモ付けられた個人情報年金、医療、口座番号など総点検項目は 29 分野、数十億件にのぼり、自治体関係者からは大きな懸念の声があがっています。 以上の理由により、日出町議会として、政府に対して次の項目について意見書を提出して下さることを、署名をそえて請願いたします。 【請願事項】 1. 健康保険証の廃止をやめ、引き続き使えるようにすること。